

令和元年度第1回
豊後高田市総合教育会議

日時 令和2年2月25日(火) 14:00～
場所 市役所高田庁舎3階 防災対策室

～ 次 第 ～

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 協議・調整事項

(1) 学校施設の長寿命化について	2
(2) いじめ・不登校対策について	7
(3) 児童・生徒の学力、体力について	16

4. 意見交換

5. 閉会

協議・調整事項

(1) 学校施設の長寿命化について

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

【劣化状況調査判定基準】

現地調査において作成した劣化状況調査票を用いて構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上、外壁及び、内部仕上げ(床・内壁・梁)を目視状況により評価します。

内部仕上げ(建具・間仕切等・照明器具・エアコン)、電気設備、機械設備は、事前ヒアリング調査結果、消防点検結果や現地調査時に管理者への聞き取りを行った劣化確認状況を加味したうえで、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階評価を行うものとします。

■評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

	評価	基準
良好	A	概ね良好
	B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
	C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化	D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上に問題があり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に使用を与えている)等

経過年数による評価【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

	評価	基準
良好	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
劣化	D	経過年数にかかわらず著しい劣化事象がある場合

■健全度

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

健全度は数値が低いほど、劣化が進んでいることを示しています。

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60 = \text{健全度}$$

表 建物情報一覧表

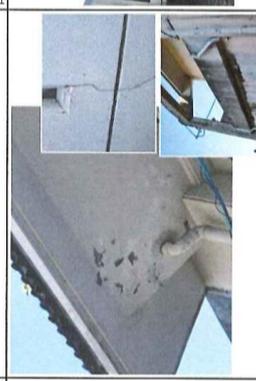
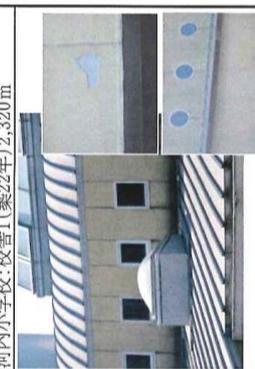
基準年度: 2017年

築30年以上

通し番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分			階数	延床面積 (㎡)	築年数	構造躯体の健全性			耐震診断など実施状況			劣化状況評価						
				学校種別	建物用途	用途				調査年度	長寿命化判定 圧縮強度 (N/㎡)	試験上の区分	耐震診断	圧縮強度 (N/㎡)	Is値	CT・SD値	屋根上	外壁	仕内上部	設備	健全度 (100点満点)	
1	高田小学校	管理、特別教室棟	002	小学校	校舎	RC	3	1,645	43	H17	13.5	長寿命	第2次診断	14	0.72	0.75	B	D	C	C	C	34
2	高田小学校	教室棟	001	小学校	校舎	RC	3	1,833	45	H17	17.6	長寿命	第2次診断	18	0.76	0.80	C	D	C	C	C	31
3	高田小学校	屋内運動場	005	小学校	体育館	S	1	646	42	H17	17.6	長寿命	第2次診断	18	0.80	0.80	C	D	C	B	B	40
4	桂陽小学校	教室棟	012	小学校	校舎	RC	3	2,371	41	H16	20.6	長寿命	第2次診断	21	0.77	0.81	A	D	C	B	B	45
5	桂陽小学校	管理棟	015	小学校	校舎	RC	1	532	39	H16	20.6	長寿命	第2次診断	21	1.80	1.89	B	B	C	B	B	62
6	桂陽小学校	屋内運動場	016	小学校	体育館	RC	1	640	38	H18	20.6	長寿命	第2次診断	21	0.88	0.71	D	D	C	B	B	38
7	河内小学校	校舎	011	小学校	校舎	RC	2	2,320	22	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	A	B	B	B	84
8	河内小学校	屋内運動場	012	小学校	体育館	RC	1	700	21	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	C	B	A	A	71
9	草地小学校	管理、特別教室、教室棟	010	小学校	校舎	RC	3	1,674	36	H21	25	長寿命	第2次診断	25	0.82	0.77	C	D	C	B	B	40
10	草地小学校	屋内運動場	011	小学校	体育館	S	1	560	35	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	C	C	B	B	52
11	呉崎小学校	管理、特別教室、教室棟	009	小学校	校舎	RC	3	1,674	34	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	D	D	C	B	B	38
12	呉崎小学校	屋内運動場	010	小学校	体育館	RC	1	560	33	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	C	C	C	B	B	49
13	田島小学校	管理、特別教室棟、教室棟	010	小学校	校舎	RC	2	1,982	28	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	B	B	B	77
14	田島小学校	屋内運動場	013	小学校	体育館	RC	1	699	25	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	B	B	B	77
15	真玉小学校	校舎棟	001	小学校	校舎	RC	2	3,095	14	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
16	真玉小学校	屋内運動場	002	小学校	体育館	RC	2	1,440	34	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
17	白野小学校	校舎	010	小学校	校舎	RC	1	80	34	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	A	A	A	93
18	白野小学校	給食センター	011	小学校	給食センター	RC	1	701	18	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	A	A	A	93
19	白野小学校	屋内運動場	016	小学校	体育館	RC	1	1,414	40	H08	18	長寿命	第2次診断	18	0.78	0.78	B	B	B	B	B	78
20	三浦小学校	特別、普通教室棟	001	小学校	校舎	RC	2	1,414	40	H08	18	長寿命	第2次診断	18	0.78	0.78	B	B	B	B	B	78
21	三浦小学校	特別教室棟	006	小学校	校舎	RC	2	1,177	20	-	-	長寿命	第2次診断	18	0.81	0.40	C	B	C	C	C	50
22	三浦小学校	屋内運動場	002	小学校	体育館	S	1	450	40	H21	23.9	長寿命	新耐震基準	24	-	-	B	B	B	B	B	75
23	香々地小学校	教室棟	003	小学校	校舎	RC	2	827	47	H08	18	長寿命	第2次診断	18	0.81	0.40	C	B	C	C	C	50
24	香々地小学校	校舎管理棟	005	小学校	校舎	RC	2	1,354	30	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
25	香々地小学校	給食室	009	小学校	給食センター	S	1	81	38	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
26	香々地小学校	屋内運動場	011	小学校	体育館	S	1	613	26	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	B	B	B	77
27	高田中学校	教室棟、管理棟	010	中学校	校舎	RC	3	4,550	20	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	A	A	A	93
28	高田中学校	屋内運動場	014	中学校	体育館	RC	1	1,138	18	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
29	河内中学校	管理、教室、特別教室棟	005	中学校	校舎	RC	3	1,678	31	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
30	河内中学校	コンピュータ教室棟	007	中学校	校舎	RC	1	132	23	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
31	河内中学校	屋内運動場	006	中学校	体育館	RC	2	686	30	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	D	C	C	B	B	46
32	載星学園	教室棟	001	小学校	校舎	RC	2	827	4	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	A	A	A	93
33	載星学園	屋内運動場	004	小学校	体育館	S	1	462	47	H23	17.6	長寿命	優先調査	18	-	-	A	B	C	C	C	55
34	載星学園	校舎	009	中学校	校舎	RC	2	1,778	24	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
35	載星学園	屋内運動場	010	中学校	体育館	RC	1	782	24	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
36	田染中学校	教室、特別教室棟、管理棟	007	中学校	校舎	RC	2	1,678	27	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
37	田染中学校	屋内運動場	008	中学校	体育館	RC	1	782	26	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	B	B	B	77
38	真玉中学校	普通教室、特別教室、給食調理室棟	001	中学校	校舎	RC	2	2,888	20	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	C	C	B	A	B	65
39	真玉中学校	屋内運動場	003	中学校	体育館	S	2	973	20	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	A	A	A	91
40	香々地中学校	特別教室棟	001	中学校	校舎	RC	3	1,209	45	H20	16.7	長寿命	第2次診断	17	0.74	0.78	B	B	B	B	B	75
41	香々地中学校	管理教室棟	002	中学校	校舎	RC	3	1,726	44	H07	-	長寿命	第2次診断	-	0.72	0.31	C	D	C	C	C	31
42	香々地中学校	屋内運動場	003	中学校	体育館	S	1	805	43	H20	17.6	長寿命	第2次診断	18	0.78	1.20	B	B	B	B	B	75
43	香々地中学校	柔道場	007	中学校	武道場	S	1	245	35	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75
44	夢いる幼稚園	夢いる幼稚園園舎	001	幼稚園	園舎	RC	1	1,047	13	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	C	B	B	A	A	78
45	夢いる幼稚園	園児クラス園舎	003	幼稚園	園舎	RC	1	65	8	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	A	A	A	A	100
46	キラリいろ幼稚園	キラリいろ幼稚園園舎	001	幼稚園	園舎	W	1	424	14	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	A	A	A	A	98
47	学校給食センター	給食センター棟	001	給食センター	給食センター	RC	1	1,614	10	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	C	A	A	A	83

表 校舎 (園舎・給食室) の外壁部の劣化状況

A 概ね良好
 B 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
 C 箇所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
 D 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価	B評価	A評価
40年～49年	B評価の31%、3棟【香々地小学校・香々地中学校・三浦小学校】については問題ないと言える。残りのD評価の69%、4棟【高田小学校(教室・管理)・香々地中学校・桂陽小学校】については、外壁からの漏水が見られる建物もあり、外壁面においては鉄筋の曝露、凹凸割れ、亀裂、塗装剥離が比較的多く確認できしており、劣化の進行が見られることから改修時期を迎えている。 延床面積比 0% 25% 50% 75% 100% B(31%) D(69%)	 高田小学校:校舎2(築45年)1,833㎡	-	 三浦小学校 校舎1(築40年)1,414㎡	-
30年～39年	B評価の61%、6棟【桂陽小学校・香々地小学校(教室・給食)・白野小学校(教室・給食)河内中学校】については問題ないと言える。残りのD評価の39%、2棟【草池小学校・貝崎小学校】外壁からの漏水が見られる建物もあり、外壁面においては鉄筋の曝露、凹凸割れ、亀裂、塗装剥離が比較的多く確認できしており、劣化の進行が見られることから改修時期を迎えていると言える。 延床面積比 0% 25% 50% 75% 100% B(61%) D(39%)	 草池小学校 校舎1(築36年)1,674㎡	-	 白野小学校 校舎1(築34年)1,440㎡	-
20年～29年	A・B評価の69%、6棟【A:河内小学校、B:田染中学校・載星学園(中)・河内中学校(こ)・高田中学校・三浦小学校】については老朽化は顕在化していません。残りのC評価の31%、2棟【真玉中学校】については、鉄筋の露出、外壁全体のクラックや塗装剥離が多く確認され劣化が進行していることから、修繕が必要である。 延床面積比 0% 25% 50% 75% 100% A(15%) B(54%) C(31%)	 田染小学校 校舎1(築28年)1,982㎡	 載星学園中学 校舎1(築24年)1,778㎡	 河内小学校:校舎1(築22年)2,320㎡	-
20年未満	A・B評価の77%、5棟【A:キラいろ幼稚園、真玉小学校・夢いろ幼稚園(園児クラス)、B:夢いろ幼稚園・載星学園(小)】については老朽化は顕在化していません。残りのC評価の23%、1棟【学校給食センター】については、外壁からの漏水が確認されており、外壁全体的にクラックや塗装剥離が多く確認されることから、修繕が必要である。 延床面積比 0% 25% 50% 75% 100% A(51%) B(26%) C(23%)	 学校給食センター 給食センター(築10年)1,614㎡	 夢いろ幼稚園 園舎1(築13年)1,047㎡	 キラいろ幼稚園 園舎1(築14年)424㎡	-

築後30年以上で劣化が進行
 築年 29年までの建物において、雨漏れの原因となる躯体の劣化現象が発生している

改修等の優先順位付けと実施計画

■個別施設の整備優先順位表

直近5年間の個別施設の整備

		健全度			
		(低)			(高)
		I (40点未満)	II (41点以上50点未満)	III (50点以上75点未満)	IV (75点以上)
施設重要度	(高)	香々地中学校・002(31点) 高田小学校・002(34点) 高田小学校・001(31点) 呉崎小学校・009(38点) 草地小学校・010(40点) (5建物)	桂陽小学校・012(45点) 田染小学校・010(49点) (2建物)	香々地小学校・003(50点) 桂陽小学校・015(62点) 真玉中学校・001(65点) (3建物)	臼野小学校・010(75点) 香々地小学校・005(75点) 河内中学校・005(75点) 載星学園・009(75点) 田染中学校・007(75点) 香々地中学校・001(75点) 河内中学校・007(75点) 三浦小学校・001(78点) 夢いる幼稚園・001(78点) 河内小学校・011(84点) 真玉中学校・003(91点) 三浦小学校・006(93点) 高田中学校・010(93点) 載星学園・001(93点) キラリいろ幼稚園・001(98点) 真玉小学校・001(100点) 夢いる幼稚園・003(100点) (17建物)
	(中)	高田小学校・005(40点) 桂陽小学校・016(38点) (2建物)	呉崎小学校・010(49点) 河内中学校・006(46点) (2建物)	草地小学校・011(52点) 載星学園・004(55点) 河内小学校・012(71点) (3建物)	三浦小学校・002(75点) 高田中学校・014(75点) 載星学園・010(75点) 香々地中学校・003(75点) 田染小学校・013(77点) 香々地小学校・011(77点) 田染中学校・008(77点) 学校給食センター・001(93点) 真玉小学校・002(93点) 臼野小学校・016(93点) (10建物)
	(低)	(0建物)	(0建物)	(0建物)	臼野小学校・011(75点):給食室 香々地小学校・009(75点):給食室 香々地中学校・007(75点):柔道場 (3建物)
建物数		7建物	4建物	6建物	30建物 47建物

※ () 内の数値は健全度

協議・調整事項

(2) いじめ・不登校対策について

平成30年度 文部科学省
「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
大分県（国・公・私） 調査結果

令和元年10月15日（火）
大分県教育庁学校安全・安心支援課

1 調査対象期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

2 暴力行為

(1) 暴力行為発生件数の推移 (単位：件)

年度	小学校	中学校	高等学校	計	県(千人当たり)	全国(千人当たり)
H26	68	147	95	310	2.5	4.0
H27	65	146	77	288	2.3	4.2
H28	62	175	79	316	2.6	4.4
H29	58	140	59	257	2.1	4.8
H30	139	117	92	348	2.9	5.5
H29との差	81	-23	33	91	0.8	0.7

(2) 暴力行為の状況の推移 (単位：件)

年度	小学校				中学校				高等学校			
	対教師	生徒間	対人暴力	器物損壊	対教師	生徒間	対人暴力	器物損壊	対教師	生徒間	対人暴力	器物損壊
H26	22	15	4	27	14	92	5	36	5	67	4	19
H27	12	42	3	8	12	98	5	31	2	62	1	12
H28	9	44	0	9	22	86	3	64	2	50	7	20
H29	3	50	0	5	8	76	5	51	4	38	4	13
H30	4	129	0	6	8	79	9	21	4	58	4	26
H29との差	1	79	0	1	0	3	4	-30	0	20	0	13

3 いじめ

(1) いじめの認知件数の推移 (単位：件)

年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援	計	県(千人当たり)	全国(千人当たり)
H26	2,331	702	180	10	3,223	25.3	13.7
H27	2,947	700	123	7	3,777	29.9	16.5
H28	2,931	628	138	9	3,706	29.7	23.8
H29	4,334	934	211	14	5,493	44.2	30.9
H30	9,367	1,639	221	129	11,356	92.4	40.9
H29との差	5,033	705	10	115	5,863	48.2	10.0

(2) いじめの解消率の推移

年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援	県	全国
H26	85.0%	76.5%	81.7%	100.0%	83.0%	88.7%
H27	86.2%	79.1%	83.7%	14.3%	84.7%	88.7%
H28	88.2%	89.6%	81.2%	55.6%	88.1%	90.5%
H29	85.2%	87.6%	91.5%	100.0%	85.9%	85.8%
H30	84.5%	83.4%	91.4%	78.3%	84.4%	84.3%
H29との差	-0.7%	-4.2%	-0.1%	-21.7%	-1.5%	-1.5%

4 小中学校不登校

(1) 不登校児童生徒数の推移

(単位：人)

年度	小学校			中学校			合計		
	不登校者数	県(千人当たり)	全国(千人当たり)	不登校者数	県(千人当たり)	全国(千人当たり)	不登校者数	県(千人当たり)	全国(千人当たり)
H26	275	4.5	3.9	981	30.6	27.6	1,256	13.5	12.1
H27	309	5.1	4.2	885	28.0	28.3	1,194	13.0	12.6
H28	283	4.7	4.7	950	30.5	30.1	1,233	13.5	13.5
H29	368	6.1	5.4	987	32.6	32.5	1,355	15.0	14.7
H30	437	7.3	7.0	1,162	39.1	36.5	1,599	17.8	16.9
H29との差	69	1.2	1.6	175	6.5	4.0	244	2.8	2.2

(2) 不登校の要因

【小学校】

(単位：人)

区分 分類	年度	分類別児童数	小学校									家庭に係る状況	左記に該当なし
			学校に係る状況										
			いじめ	課題をくわめ友しよく人める関係を除	る関教職問題を員とく	学業の不	不登安路に係る	応等動クハ、ラ部の不活動適	るり学校問題をめきくま	時入入学の不、適進転			
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	H29	38	4	24	5	2	0	0	0	1	7	1	
	H30	61	1	42	10	2	0	0	0	3	14	1	
「あそび・非行」の傾向がある。	H29	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	H30	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	
「無気力」の傾向がある。	H29	104	0	9	1	21	0	0	0	2	78	12	
	H30	139	0	7	5	20	0	1	3	1	99	15	
「不安」の傾向がある。	H29	128	1	33	10	21	0	1	4	8	68	23	
	H30	129	0	40	4	22	2	1	2	6	44	28	
「その他」	H29	97	0	9	5	7	2	0	2	0	70	25	
	H30	105	0	5	0	8	0	1	1	1	68	32	
計	H29	368	5	75	21	51	2	1	6	11	224	61	
	H30	437	1	95	19	52	2	3	6	12	226	76	
分類別児童数に占める状況の割合	H29	-	1.4%	20.4%	5.7%	13.9%	0.5%	0.3%	1.6%	3.0%	60.9%	16.6%	
	H30	-	0.2%	21.7%	4.3%	11.9%	0.5%	0.7%	1.4%	2.7%	51.7%	17.4%	

【中学校】

(単位：人)

区分 分類	年度	分類別生徒数	中学校									家庭に係る状況	左記に該当なし
			学校に係る状況										
			いじめ	課題をくわめ友しよく人める関係を除	る関教職問題を員とく	学業の不	不登安路に係る	応等動クハ、ラ部の不活動適	るり学校問題をめきくま	時入入学の不、適進転			
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	H29	176	11	106	9	14	3	3	0	9	53	1	
	H30	174	7	111	13	17	4	5	2	7	63	2	
「あそび・非行」の傾向がある。	H29	28	0	6	2	10	1	1	2	0	15	3	
	H30	33	1	1	2	13	0	0	7	0	15	4	
「無気力」の傾向がある。	H29	300	0	55	8	124	11	6	3	18	107	43	
	H30	361	1	52	1	184	22	2	7	14	146	37	
「不安」の傾向がある。	H29	318	0	104	4	114	15	14	3	36	65	45	
	H30	436	0	158	6	179	61	6	6	28	74	39	
「その他」	H29	165	0	22	3	20	2	1	0	5	51	80	
	H30	158	0	8	3	14	10	1	1	3	77	59	
計	H29	987	11	293	26	282	32	25	8	68	291	172	
	H30	1162	9	330	25	407	97	14	23	52	375	141	
分類別生徒数に占める状況の割合	H29	-	1.1%	29.7%	2.6%	28.6%	3.2%	2.5%	0.8%	6.9%	29.5%	17.4%	
	H30	-	0.8%	28.4%	2.2%	35.0%	8.3%	1.2%	2.0%	4.5%	32.3%	12.1%	

5 高等学校不登校

(1) 不登校生徒数の推移 (単位：人)

年度	不登校数	県 (千人当たり)	全国 (千人当たり)
H26	699	21.6	15.9
H27	681	21.4	14.9
H28	595	19.0	14.6
H29	648	20.7	15.1
H30	617	20.0	16.3
H29との差	-31	-0.7	1.2

(2) 不登校の要因 (単位：人)

区分 分類	年度	高等学校											
		分類別生徒数	学校に係る状況									家庭に係る状況	左記に該当なし
			いじめ	人間関係をめぐる友人	を教職員との関係	学業の不振	進路に係る不安	廊下活動等への不安	学校へのきまり等	適学入学、進級、転編の不安			
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	H29	122	6	84	3	8	5	8	1	2	11	4	
	H30	107	3	71	10	8	6	1	6	9	7		
「あそび・非行」の傾向がある。	H29	64	0	6	0	5	3	0	12	2	23	14	
	H30	40	0	2	1	8	0	0	14	0	9	9	
「無気力」の傾向がある。	H29	184	0	16	2	42	22	5	7	31	39	40	
	H30	159	0	10	4	23	19	3	8	34	23	70	
「不安」の傾向がある。	H29	170	0	21	0	25	28	5	3	38	36	29	
	H30	168	0	16	2	34	35	3	0	28	18	44	
「その他」	H29	108	0	3	0	15	15	4	1	15	31	18	
	H30	143	0	2	1	12	14	0	5	17	25	79	
計	H29	648	6	130	5	95	73	22	24	88	140	105	
	H30	617	3	101	18	85	74	7	33	88	84	209	
分類別生徒数に占める状況の割合	H29	—	0.9%	20.1%	0.8%	14.7%	11.3%	3.4%	3.7%	13.6%	21.6%	16.2%	
	H30	—	0.5%	16.4%	2.9%	13.8%	12.0%	1.1%	5.3%	14.3%	13.6%	33.9%	

6 中途退学者

(1) 中途退学者数の推移

年度	退学者数	県 (中途退学者率)	全国 (中途退学者率)
H26	530	1.6	1.5
H27	536	1.6	1.4
H28	460	1.4	1.4
H29	423	1.3	1.3
H30	488	1.5	1.4
H29との差	65	0.2	0.1

(2) 中途退学者の主な理由

	学業不振	学校生活 学業不適応	進路変更	その他
合計	8.6%	35.0%	38.5%	17.9%

令和元年度二学期末のいじめ調査結果

豊後高田市教育委員会

1. いじめを認知した学校数、いじめの認知件数

	認知した	認知しない	認知件数
小学校	11	0	199
中学校	5	1	50
計	16	1	249

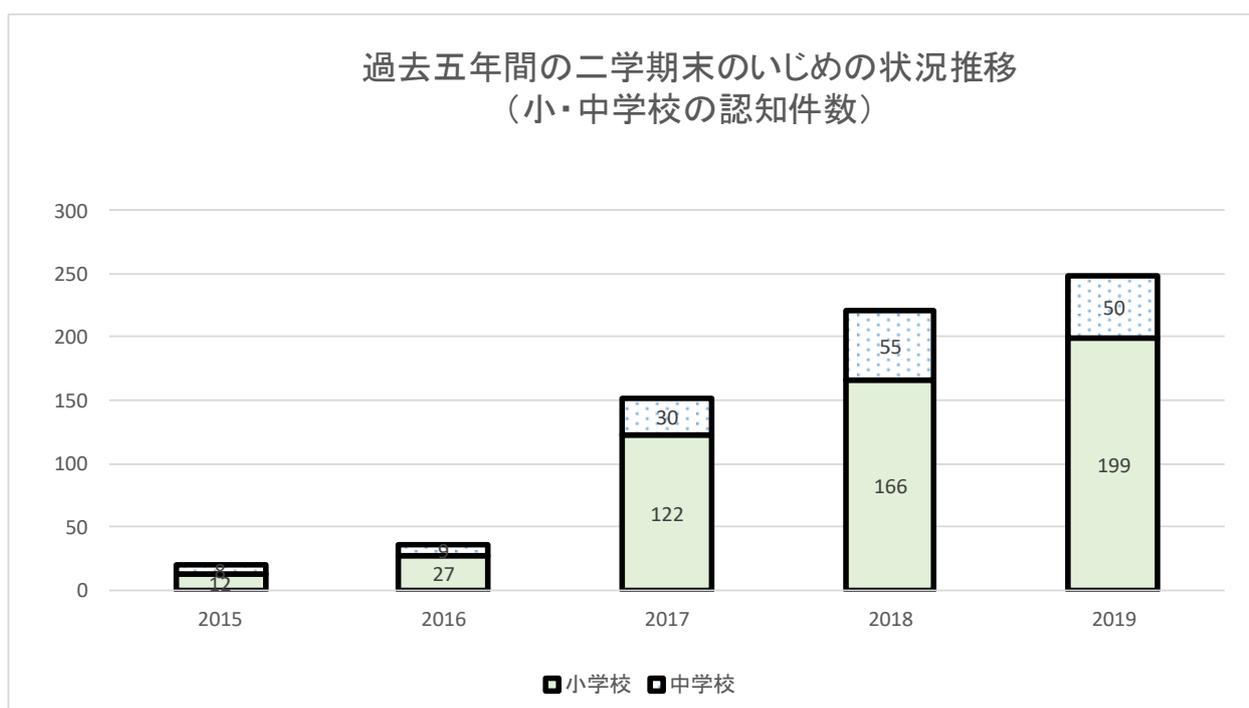
2. いじめの現在の状況

	解消した	取組中	その他	計
小学校	103	96	0	199
中学校	24	26	0	50

3. いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
小学校	男子	22	18	13	20	24	8	105
	女子	20	17	17	14	19	7	94
	計	42	35	30	34	43	15	199
中学校	男子	11	10	6	-	-	-	27
	女子	7	12	4	-	-	-	23
	計	18	22	10	-	-	-	50

過去5年間の二学期末のいじめ状況の推移



1. いじめの発見のきっかけ

区 分		小学校	中学校	計
学校の教職員等が発見した。		122	13	135
内	学級担任が発見した。	24	6	30
	学級担任以外の教職員が発見した。 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く。)	4	2	6
訳	養護教諭が発見した。	1	0	1
	スクールカウンセラー等の相談員が発見した。	3	0	3
	アンケート調査など学校の取組により発見した。	90	5	95
学校の教職員以外からの情報により発見した。		77	37	114
内	本人からの訴え	57	30	87
	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	14	7	21
	児童生徒（本人を除く。）からの情報	4	0	4
	保護者（本人の保護者を除く。）からの情報	2	0	2
訳	地域の住民からの情報	0	0	0
	学校以外の関係機関（相談機関を含む。）からの情報	0	0	0
	その他（匿名による投書など）	0	0	0
計		199	50	249

2. いじめられた児童生徒の相談の状況

(複数回答有)

区 分	小学校	中学校
学級担任に相談した。	178	24
学級担任以外の教職員に相談した（養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く）。	6	3
養護教諭に相談した。	8	8
スクールカウンセラー等の相談員に相談した。	0	5
学校以外の相談機関に相談した（電話相談やメール等も含む。）。	1	0
保護者や家族等に相談した。	96	14
友人に相談した。	26	12
その他の人（地域の人など）に相談した。	0	0
誰にも相談していない。	2	3
計	250	102

3. いじめの態様

(複数回答有)

区 分	小学校	中学校
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	173	37
仲間はずれ、集団による無視をされる。	19	5
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	54	7
ひどくぶつかられたりたたかれたり、蹴られたりする。	17	1
金品をたかられる。	2	0

金品を隠されたり，盗まれたり，壊されたり，捨てられたりする。	10	2
嫌なことや恥ずかしいこと，危険なことをされたり，させられたりする。	27	4
パソコンや携帯電話等で，ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	1	0
その他	0	0
計	303	56

4. いじめの対応状況

(1) いじめられた児童生徒への特別な対応			
区 分	小学校	中学校	
①スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った。	2	12	
②別室を提供したり，常時教職員が付くなどして心身の安全を確保したりした。	3	0	
③緊急避難として欠席させた。	0	0	
④学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した。	35	20	
⑤学級替えをした。	0	0	
⑥当該いじめについて，教育委員会と連携して対応した。	28	1	
⑦児童相談所等の関係機関と連携して対応した。（サポートチームなども含む。）	0	0	
(2) いじめる児童生徒への特別な対応			
区 分	小学校	中学校	
①スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行った。	1	10	
②校長，教頭が指導した。	9	0	
③別室指導した。	0	0	
④学級替えをした。	0	0	
⑤保護者への報告	118	40	
⑥いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	116	32	
⑦関係機関等との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	0	0
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	0	0
	ウ 病院等の医療機関等との連携	0	0
	エ その他の専門的な関係機関との連携	0	0
	オ 地域の人材や団体等との連携	0	0

令和元年度 12月末 不登校等状況

1. 欠席日数毎の人数及び不登校等の人数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
10日～19日		2	1	1	3		2	1		10
20日～29日					2		1		1	4
30日以上				2	3	2	9	7	11	34
全欠席					1		1			2

2. 不登校等生徒への対応

区 分		10日～19日		20日～29日		30日以上	
		小学校7	中学校3	小学校2	中学校2	小学校7	中学校27
	校内対策委員会の実施	7	3	1	2	7	27
	複数教員等によるチーム支援	4	3	1	2	7	27
	S Cの専門的指導	3	3	0	1	3	12
	S S Wの専門的指導	3	2	1	2	4	13
	保健室等特別の場所への登校	2	3	1	2	4	21
家庭への働きかけ	登校を促すために電話をかけたたり、迎えにいくなどした	6	3	2	2	6	25
	家庭訪問を行い、学業や生活面等の相談に乗るなど様々な指導・援助を行った	6	3	1	2	7	27
	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った	7	3	1	2	6	26
	関係機関との連携	3	3	1	1	5	15

3. 不登校の要因

	小 学 校										
	童別分 数 児 類	学校に係る状況								況るに家 状 係 庭	し 当 に 左 な 該 記
		いじめ	いじめを除く友人 関係をめぐる問題	教職員との関係を めぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活 等への不適応	学校のきまり等を めぐる問題	入学、転編入学、 進級時の不適応		
「学校における人間関係」 に課題を抱えている。	2	0	2	0	1	1	0	0	0	1	0
「あそび・非行」の傾向がある。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
「無気力」の傾向がある。	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
「不安」の傾向がある。	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
「その他」	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	7	0	4	0	1	1	0	0	0	3	2

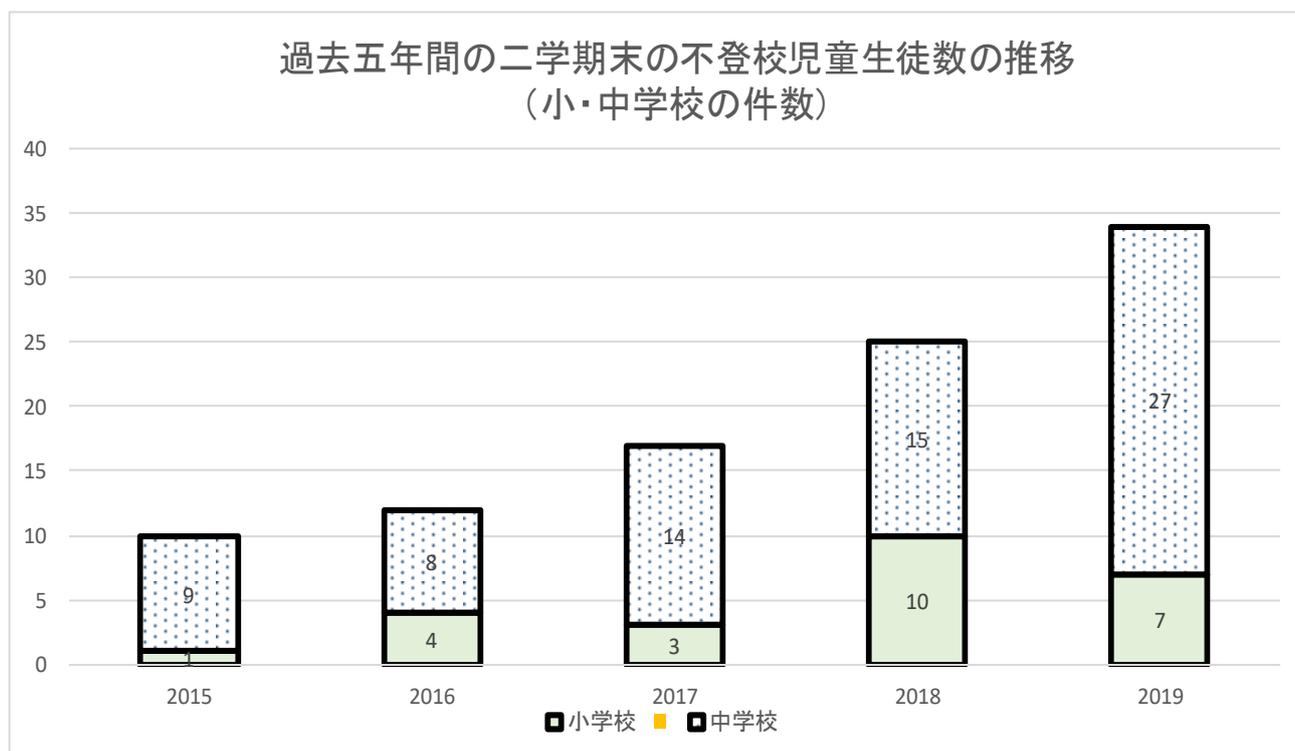
	中 学 校										
	徒別分 数 生 類	学校に係る状況								況るに家 状 係 庭	し 当 に 左 な 該 記
		いじめ	いじめを除く友人 関係をめぐる問題	教職員との関係を めぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活 等への不適応	学校のきまり等を めぐる問題	入学、転編入学、 進級時の不適応		
「学校における人間関係」 に課題を抱えている。	15	0	16	2	9	3	1	0	0	5	1
「あそび・非行」の傾向がある。	2	1	1	0	2	1	0	0	0	1	0
「無気力」の傾向がある。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
「不安」の傾向がある。	3	0	1	0	2	1	2	0	0	2	0
「その他」	7	0	2	0	3	0	1	1	0	6	1
計	27	1	20	2	16	5	4	1	0	14	2

令和元年度二学期末の不登校調査結果

豊後高田市教育委員会

区分	学年	在籍児童生徒総数 (A) (平成30年5月1日現在)	長期欠席者(人)										不登校傾向にある児童生徒数		
			(1) 理由別長期欠席者数(人)								(2) 不登校児童生徒の割合 (%) (B/A×100)	(3) (B)児童生徒のうち、不登校状態が前年度から継続している児童生徒数(人)			
			病気	経済的理由	不登校(B)					その他			合計		
					うち、90日以上欠席している者	うち、出席日数が10日以下の者	うち、出席日数が0日の者	10日～19日の生徒数	20日～29日の生徒数		計				
小学校	1年	168	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0
	2年	147	1	0	0	0	0	0	1	2	0.00	0	2	0	2
	3年	176	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	1	0	1
	4年	149	0	0	2	0	0	0	0	2	1.34	0	1	0	1
	5年	183	0	0	3	2	2	1	0	3	1.64	2	3	2	5
	6年	178	0	0	2	1	1	0	1	3	1.12	2	0	0	0
	計	1,001	1	0	(i)7	3	3	1	2	10	0.70	4	7	2	9
中学校	1年	172	1	0	9	3	2	1	0	10	5.23	6	2	1	3
	2年	156	2	0	7	4	0	0	0	9	4.49	5	1	0	1
	3年	186	2	0	11	6	2	0	0	13	5.91	9	0	1	1
	計	514	5	0	(ii)27	13	4	1	0	32	5.25	20	3	2	5
計	1,515	6	0	(iii)34	16	7	2	2	42	2.24	24	10	4	14	

過去5年間の二学期末の不登校状況の推移



協議・調整事項

(3) 児童・生徒の学力、体力について

1 平成31年(令和元年)度 全国学力・学習状況調査から 〈小学6年生〉

伸ばそう！高田っ子の学力と豊かな心

豊後高田市教育委員会 令和元年9月

この調査は、全国の子どもたち（小・中学校児童生徒）の学力や学習状況を把握・分析し、これまでの教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証サイクルを確立するためのものです。また、学校における子どもたちへの教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる基礎データとするものです。

今年度の調査の概要と結果、そして今後の方策をお知らせします。



論理的な説明

- 《調査の概要》 ◆調査期日 平成31年4月18日(火) ◆調査対象 小学校6年生
- ◆調査内容 (1) 教科に関する調査 小学校6学年 国語、算数
(2) 問題内容 「知識・技能」と「課題を解決するための力」を一体的に出題
- ◆質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、児童の諸側面等に関する調査
- ◆学校質問紙 指導方法に関する取組や人物・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

豊後高田の子どもたちのすばらしいところ と 伸ばしたいところ（質問紙調査結果より）

質問紙調査により、豊後高田市の子どもたちの、家庭生活の様子や友だち関係がある程度把握できます。

今回は、昨年度と比べることができるように、昨年度、肯定的な回答をした割合が全国値より高かった項目の肯定率を比較しました。（肯定率とは、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」をたし合わせた数です）

- 先生は、よいところを認めてくれている。（市 88.6%、全国 86.1%）昨年と同等
- 将来の夢や目標を持っている。（市 89.9%、全国 83.8%）昨年と同等
- 5年生までに受けた授業で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする授業があった。（市 79.6%、全国 77.7%）昨年と同等
- 地域や社会をよくするために、何をすべきか考える。（市 54.5%、全国 54.5%）↓
- 朝食を毎日食べている。（市 96.4%、全国 95.3%）昨年と同等
- ▽ 自分にはよいところがあると思う。（市 73.6%、全国 81.2%）昨年比↓

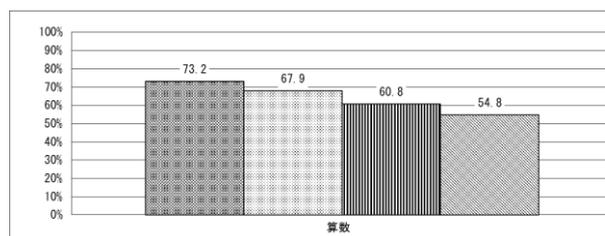
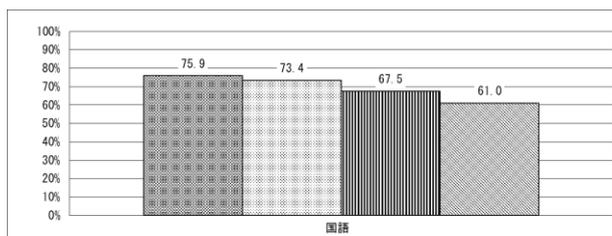
「学力」や「豊かな心」を育むもの

自己認識、社会性、生活・学習習慣、好きな教科等は、学力や豊かな心の育成にも大きく関係があります。いいところを伸ばし、悪いところは改善して、健やかに育みたいと考えています。

【児童生徒質問紙】自分には、よいところがあると思いますか。

○全国調査では「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、平成25年度以降、増加傾向が見られ、平成31年度は約84%になっています。

しかしながら、豊後高田市の子どもたちは、昨年86.5%だったものが今年度は73.6%まで減退しています。アンケートですから傾向として捉えておく必要がありますが、この「自分にはよいところがあると思う」という気持ちは「自己肯定感」であり「自尊心」にも関わるものです。この項目で肯定率の高い子は自分に自信を持っているので、下のグラフのように、教科の学力も高い傾向にあります。



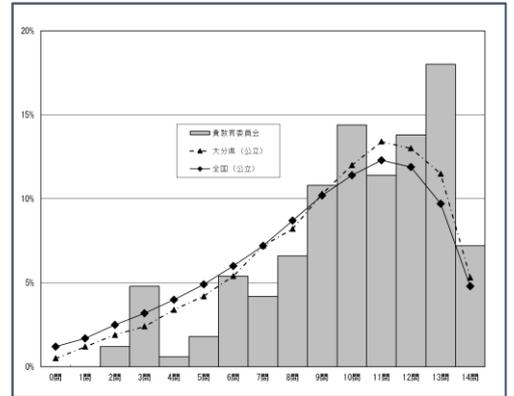
上のグラフは4段階に分かれています。左から、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した子どもの教科の平均正答率を表します。肯定的な回答をした子どもの学力は高いということがいえます。

このように、子どもを健やかに育むためには、認めたり、ほめたりすることによって子どもの自己肯定感や自尊感情、そして社会性を育むことが大切です。その上で、自分の夢を描き（目的を持ち）、夢に向かって勉強したり、練習したりする（努力する）ことによって自己実現が図られます（夢がかなえられる）。

今回の調査でも、県・全国の正答率を超えており、活用する力もついているといえます。これは、各校で基礎的な知識・技能の定着を図ったことや、子どもが課題に対して、考えたり、まとめたり、意見交換（説明）したりするような課題（問題）解決型の授業に取り組んでいることの成果と考えられます。

教科	国語
豊後高田市	72
大分県	67
全国	64

対象児童数		豊後高田市教育委員会	大分県（公立）	全国（公立）
		167	9,522	1,028,203
分類	区分	平均正答率（%）		
		豊後高田市	大分県	全国
	全体	72	67	63.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	78.8	76.0	72.3
	書くこと	58.3	57.0	54.5
	読むこと	87.0	83.8	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.1	57.1	53.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	65.9	60.6	57.6
	話す・聞く能力	78.8	76.0	72.3
	書く能力	58.3	57.0	54.5
	読む能力	87.0	83.8	81.7
	言語についての知識・理解・技能	67.1	57.1	53.5
問題形式	選択式	80.4	77.9	75.1
	短答式	61.8	52.2	48.7
	記述式	65.9	60.6	57.6



出題された問題の中で文部科学省が解説で示した特徴的な問題と授業改善のポイントを紹介します。

○ 漢字（同音異義語）を文章の中で正しく使うことができます。

大問 1 「調べたことを報告する文章を書く」（公衆電話）の中で 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

設問四(1)ア
「地いきの人三十人を調査のたいしょうとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、・・・」という文章の下線部を正しい漢字で書く問題
○「対象」と解答している
正答率：本市 67.7%、全国 41.9%
×「対照」と解答している：本市 3.0%、全国 3.3%

設問四(1)ウ
「今回の調査を通して知ったことを・・・多くの友達に伝え、公衆電話についてかんしんをもってもらいたいと思います」という文章の下線部を正しい漢字で書く問題。
○「関心」と解答している：正答率 52.1%（全国 35.6%）
×「感心」と解答している 本市：36.5%、全国 47.1%

【授業改善のポイント】漢字による熟語などの語句の使用が増加する高学年では、漢字辞典を使って意味を調べたり、同音異義語を使い分けた短文作りをしたりする学習を取り入れ、文や文章の中で正しく使うことができるように指導するとよい。（文部科学省）

○ 相手に分かりやすく情報を伝えるための記述の工夫を捉えたり、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書いたりすることに課題があります。

大問 1 「調べたことを報告する文章を書く」（公衆電話）の中で （「書くこと」を問う問題）

設問二
報告する文章の「(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」の部分における書き方の工夫として適切なものを選択する問題。
① 情報を整理して伝えるために、ことがらを分けて並べて書いている。
② 自分の考えを強調するために、同じ言葉をくり返して書いている。
③ 自分の考えのもととなる事実を示すために、図や表を用いて書いている。
④ 相手の理解を助けるために、使い方の手順に従って書いている。 **正答率：70.7%**（全国 63.4%）
設問三
報告する文章の「3 調査の結果をもとに考えたこと」の部分に「(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか」と「(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」で分かったことをまとめて書く問題。
・ (1)(2)両方から分かったことを取り上げて、報告文にふさわしい表現で書いている。本市 31.1%、全国 28.8%

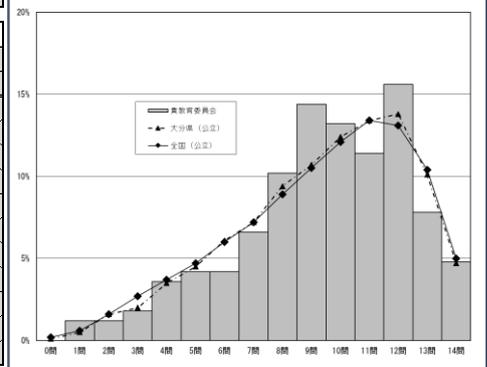
【授業改善のポイント】より説得力を持って自分の考えを伝えるために、調査したことを報告する文章では、調べて分かった事実を基に自分の考えをまとめて書くことができるようにする。その際、報告する目的に応じて、どのような理由や事例を挙げて自分の考えをまとめることが適切かを十分考えて書くことができるように指導するとよい。（文科省）

算数は、県・全国の正答率と同等です。
 学習指導要領の領域では、「量と測定」、「数量関係」に少々課題があり、評価の観点では、「数量や図形についての技能」に課題が残ります。
 問題形式では、記述式に課題があります。

教科	算数
豊後高田市	67
大分県	67
全国	67

対象児童数	豊後高田市	大分県	全国
	167	9,524	1,028,177

分類	区分	平均正答率(%)		
		豊後高田市	大分県	全国
	全体	67	67	66.6
学習指導要領の領域	数と計算	65.4	64.1	63.2
	量と測定	48.9	52.0	52.9
	図形	77.5	77.1	76.7
	数量関係	68.1	68.2	68.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	62.9	62.8	62.2
	数量や図形についての技能	71.7	74.4	73.6
	数量や図形についての知識・理解	74.0	69.1	70.1
問題形式	選択式	77.6	75.7	75.7
	短答式	73.3	74.2	72.8
	記述式	46.0	47.3	47.4



※ 平均正答率の白い部分は全国正答率に達していない項目です。

出題された問題の中で文部科学省が解説で示した特徴的な問題と授業改善のポイントを紹介します。

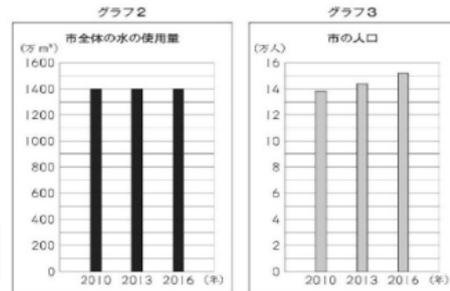
② 二つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を記述することに課題がある。

大問2 資料の特徴や傾向を読み取り判断すること (水の使用量)

【数量関係】

- (3) 一人当たりの水の使用量の増減について判断し、判断した理由を、グラフ2、グラフ3から分かること基に、言葉や数を使って書く問題
- 一人当たりの水の使用量の増減を判断し、複数のグラフから読み取った資料の特徴や傾向を関連付け、判断の理由を書いている

正答率：豊後高田市 **44.9%** 全国 **52.1%**



【授業改善のポイント】資料の特徴や傾向を基に考察したり、複数の資料の特徴や傾向を関連付けて判断することができるようにするために、グラフから資料の特徴や傾向を読み取るとともに、複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料からは判断できない事項についても判断できるように指導する必要があります。【文部科学省】

③ 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題がある。

大問3 計算の仕方の解釈と発展的な考察 (計算の工夫)

【数と計算】

- (2) 示された計算の仕方を解釈し、除法に関して成り立つ性質を、「わられる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って書く問題

・わり算では、

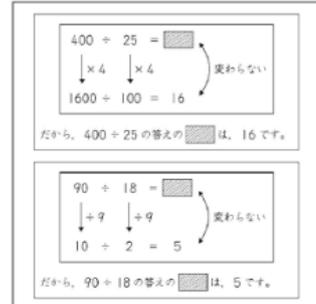
(正答例)

わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数でわっても、商は変わりません。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

正答率：豊後高田市 **37.1%** 全国 **31.1%**

【こたねさんの計算の仕方】



【授業改善のポイント】計算に関して成り立つ性質を見だし、表現できるようにするために、適用する数の範囲を広げていながら統合的・発展的に考え、計算に関して成り立つ性質を見だし、表現できるように指導する必要があります。【文部科学省】

3 平成31年(令和元年)度 全国学力・学習状況調査 <中学校>

伸ばそう！高田っ子の学力と豊かな心

豊後高田市教育委員会 令和元年9月

この調査は、大分県内の子どもたち(小・中学校児童生徒)の学力や学習状況を把握・分析し、これまでの教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、継続的な検証サイクルを確立するためのものです。

また、学校における教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる基礎データとします。その調査の概要と結果、そして今後の方策をお知らせします。



《調査の概要》 ◆調査期日 平成31年4月18日(火) ◆調査対象 中学校3年生

◆調査内容 (1) 教科に関する調査 中学校3学年 国語、数学、英語

(2) 問題内容 「知識・技能」と「課題を解決するための力」に関わる問題を一体的に出題

◆質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、児童の諸側面等に関する調査

豊後高田市の中学生のすばらしいところ と 伸ばしたいところ！ (質問紙調査結果より)

質問紙調査により、豊後高田市の子どもたちは、次の項目で肯定的な回答をした割合が全国より高くすばらしいところがあります。(肯定率とは、「当てはまる」と「どちらかといえば、まあまあ思う」を合わせた数です)

- 1・2年のときに受けた授業でICTをどの程度使用しましたか。(市71%、全国31%)
- 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか。(市90%、全国78%)
- 国語の勉強は好きですか。(市72%、全国62%)

【伸ばしたいところ】

- ×英語の勉強は好きですか。(市52%、全国56%)
- ×英語の授業はよく分かりますか。(市52%、全国66%)

「学力」や「豊かな心」を育む資質

自己認識、社会性、生活・学習習慣、好きな教科等は、学力や豊かな心の育成にも大きく関係があります。いいところを伸ばし、悪いところは改善して、健やかに育みたいと考えています。

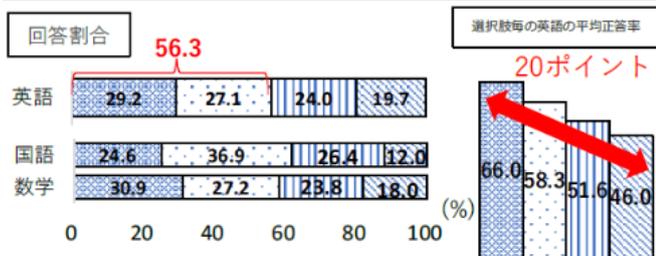
今回は、英語について取り上げます。

【生徒質問紙】英語の勉強は好きですか。【生徒質問紙】英語の授業はよく分かりますか。

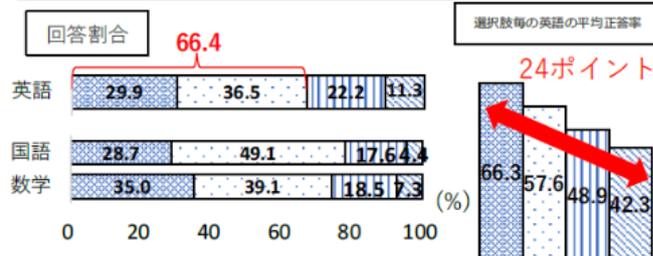
上記のように、A「英語の勉強は好きですか」、B「英語の授業はよく分かりますか」の質問に、当てはまる、どちらかといえば当てはまると肯定的な回答をした生徒は、A市52%、全国56%、B市52%、全国66%でした。その回答と英語の平均正答率の相関関係は、下記のとおりです。

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

【生徒質問紙】英語の勉強は好きですか。



【生徒質問紙】英語の授業はよく分かりますか。



【授業改善のポイント】 ○生徒の英語学習の意欲を高めることが大切です。

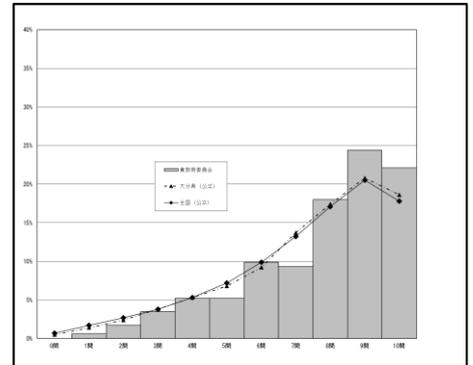
- ・ 授業を実際のコミュニケーションの場面とする。
- ・ 生徒の関心に応じた話題を取り上げる。
- ・ 学習成果を適切に評価することで、学習意欲の向上を図るなどの工夫をしていただきたいと思います。

国語については、県・全国の正答率を大きく上回っています。
 また、言語についての知識・理解・技能では、封筒の宛名書きの問題でしたが、問題の情報を正確に読み取っていないことによる誤答がありました。「情報を的確に読み取ること」と「書写の学習を生活に活かす」指導が必要です。

教科	国語
豊後高田市	77
大分県	74
全国	73

対象生徒数		豊後高田市	大分県	全国
		172	8,760	938,797
分類	区分	平均正答率(%)		
		豊後高田市	大分県	全国
	全体	77	74	72.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	77.1	72.2	70.2
	書くこと	88.1	83.6	82.6
	読むこと	78.3	73.5	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	64.2	66.3	67.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	82.4	78.3	76.5
	話す・聞く能力	77.1	72.2	70.2
	書く能力	88.1	83.6	82.6
	読む能力	78.3	73.5	72.2
	言語についての知識・理解・技能	64.2	66.3	67.7
問題形式	選択式	79.3	74.4	73.6
	短答式	48.3	55.1	56.8
	記述式	82.4	78.3	76.5

※豊後高田市の平均正答率の白い部分は全国の前答率に達していない項目です。



出題された問題の中で文部科学省が解説で示した特徴的な問題と授業改善のポイントを紹介しします。

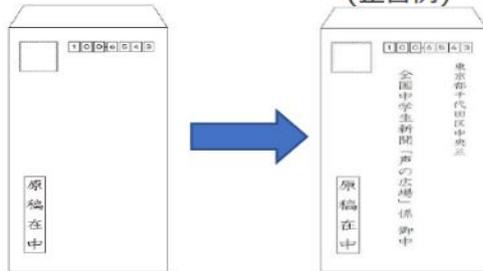
課題 ② 封筒の書き方を理解するとともに、住所等の情報を正確に読み取ることに課題があります。

大問1 情報を読む（新聞）【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

設問四

封筒の書き方を理解して宛名を書く問題

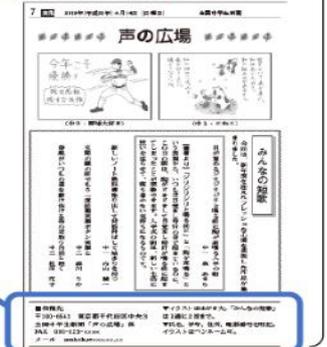
(正答例)



【全国中学生新聞】を読み、「声の広場」へ投稿するという場面設定の下、紙面の投稿先の情報から封筒へ宛名を記入。

正答率：豊後高田市 48.3%
 全国 56.8%

【全国中学生新聞】左ページ



正答の条件) ① 投稿先の名前と住所の正しい内容を楷書で書く。② 投稿先の名前に敬称(御中)を適切に付けて封筒の中央に書き、住所を右側に書く。③ 投稿先の名前を住所より大きく書く。④ 縦書きで書く。であるが、①②③④ができていないものは○、①②④は○、①④と②の位置が大きく偏っているものも○とし、◎も◎も正解とされています。

《授業改善のポイント》【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

○紙面の投稿先の情報を正確に読み取ること、書写の能力を学習や生活に役立てるように指導する必要があります。

比較的定着している領域

③ 話し合いの流れを踏まえて、自分の考えをもつことができている。

大問2 話し合いをする（文化祭）【話すこと・聞くこと】

設問三

「地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために」という議題での話し合いの流れを踏まえ、まだ「どうするか決まっていななこと」について自分の考えを書く問題

・「どうするか決まっていななこと」とは何かを明確にして、それを解決する具体的な案を、実際に話すように書いている。

正答率：豊後高田市 69.8%
 全国 60.4%

正答の条件) 次の条件①②③を全て満たしているものを正解としています。① 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていななこと」とは何かを明確にして書いている。② ①で示した「どうするか決まっていななこと」を解決する具体的な案を書いている。③ 実際に話すように書いている。この問題では、豊後高田市の生徒は、全国の平均正答率を大きく超えています。

《授業改善のポイント》各学年において、話し合うことに関する指導を意図的・計画的に行うとともに、目的や場面に応じて話し合い、自分の考えをまとめる指導の工夫をしていただきたい。

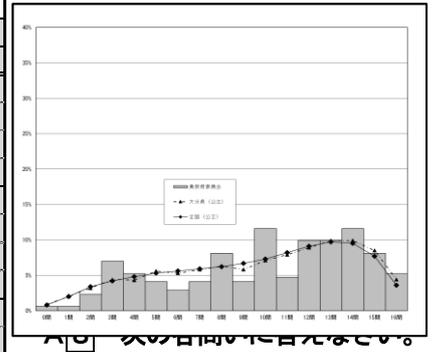
数学については、県・全国の正答率を上回っているといえども、学習指導要領の領域の図形と資料の活用面で少し課題が残っています。

特に図形に関しては、AB、CD、=等の記号を使って考えたり、証明したりすることに苦手意識があります。

教科	数学
豊後高田市	62
大分県	61
全国	60

対象生徒数	豊後高田市	大分県	全国
	172	8,764	938,887

分類	区分	平均正答率(%)		
		豊後高田市	大分県	全国
	全体	62	61	59.8
学習指導要領の領域	数と式	69.5	64.6	63.8
	図形	71.7	71.3	72.4
	関数	47.5	44.7	40.8
	資料の活用	55.4	57.0	56.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	53.9	51.8	51.0
	数学的な技能	65.7	65.4	63.9
	数量や図形などについての知識・理解	74.0	72.0	71.3
問題形式	選択式	65.6	61.6	60.3
	短答式	67.9	67.1	66.6
	記述式	48.8	48.2	47.1



※豊後高田市の平均正答率の白い部分は全国の正答率に達していない項目です。

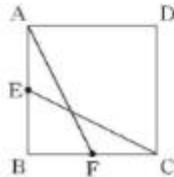
出題された問題の中で文部科学省が解説で示した特徴的な問題と授業改善のポイントを紹介します。

課題 ② 三角形の合同条件や四角形の条件変えの問題です。
 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することに課題があります。

大問7 証明することや反例をあげることを通して、統合的・発展的に考察すること
 (四角形の条件変え) **【図形】**

(1) 証明で用いられている三角形の合同条件を書く問題

予題1
 正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、
 $AF = CE$ になる。



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。
 (1) 予題1が成り立つことは、次のように証明することができます。

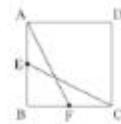
証明
 $\triangle ABF$ と $\triangle CBE$ において、
 正方形の4つの辺はすべて等しいから、
 $AB = CB$ ①
 直線EFはそれぞれ辺AB、BCの中点だから、①より、
 $BF = BE$ ②
 共通な角だから、
 $\angle ABF = \angle CBE$ ③
 ①、②、③より、 $\triangle ABF \cong \triangle CBE$ がそれぞれ等しいから、
 $\triangle ABF \cong \triangle CBE$
 合同な三角形の対応する辺は等しいから、
 $AF = CE$

(正答)
 2組の辺とその間の角

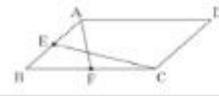
正答率：
 豊後高田市 67.4%
 全国 75.8%

(3) 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明する文を書く問題

まどめ
 ○「正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF = CE$ になる。」ということが成り立つ。



○「平行四角形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF = CE$ になる。」ということが成り立たない。



(正答)
 「四角形ABCDがひし形」
 「四角形ABCDが $AB = BC$ の四角形」であるならば、
 「 $AF = CE$ 」になると書いている。

正答率：豊後高田市 52.9%、全国 53.3%

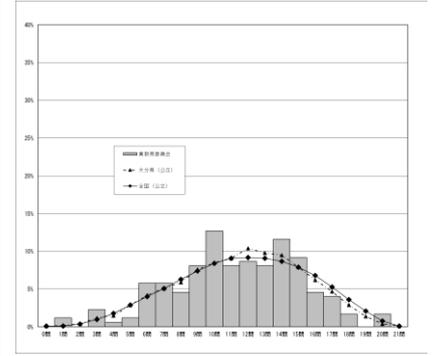
正答の条件) 「○○ならば、◇◇になる。」という形で、次の(a),(c)、または(b),(c)の条件を満たし、成り立つ事柄を記述している。
 (a) ○○が、「四角形ABCDがひし形」である。(b) ○○が、「四角形ABCDが $AB = BC$ の四角形」である。(c) ◇◇が、「 $AF = CE$ 」である。
 授業改善のポイント) 今回の趣旨は、結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することですが、図形の学習においては、ある結論が成り立つ事柄について前提を変えたときに、同じ結論が成り立つかどうかを検討する場面を設定する必要があります。

英語科については、今回が初めて（どこも同じ）であったこともあり、満足いくような結果ではありませんでしたが、話されたり書かれたりしている内容を聞き取ったり、読み取ったりすることは概ねできていると考えられます。

教科	英語
豊後高田市	54
大分県	55
全国	56

対象生徒数	豊後高田市	大分県	全国
	173	8,766	938,888

分類	区分	平均正答率(%)		
		豊後高田市	大分県	全国
	全体	54	55	56.0
学習指導要領の領域	聞くこと	64.2	66.4	67.9
	話すこと(参考値)			
	読むこと	53.4	55.3	55.6
	書くこと	45.8	45.4	45.8
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度			
	外国語表現の能力	1.2	1.7	1.8
	外国語理解の能力	41.1	43.1	44.7
	言語や文化についての知識・理解	63.4	64.3	64.7
問題形式	選択式	68.8	71.0	71.4
	短答式	45.3	44.3	45.2
	記述式	5.0	5.1	6.8



※豊後高田市の平均正答率の白い部分は全国正答率に達していない項目です。

出題された問題の中で文部科学省が解説で示した特徴的な問題と授業改善のポイントを紹介します。

- ① 話されたり書かれたりしている内容を聞き取ったり、読み取ったりすることは、概ねできていると考えられます。
- ② 理解した内容を踏まえ、目的・場面・状況に応じて、話し手や書き手の伝えたいことは何かを理解するなど、概要や要点を捉えることに課題があります。

① 大問1 情報を正確に聞き取る **【聞くこと】**

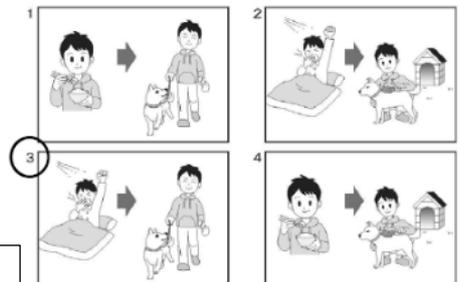
設問(1)

ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題

(スクリプト)

I get up at six every Sunday and take my dog for a walk.

正答率：豊後高田市 76.3%、全国 91.1%



③ ☆ 大問10 まとまりのある文章を書く **【書くこと】**

学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに25語以上の英語で意見を書く問題

【A】



【B】



(正答の条件)

- ① どちらの案がよいか、1つ選んで意見を書いている。
- ② 選んだ理由等について、2つの案に触れながら書いている。
- ③ 25語以上の英語で書いている。

・①②③全てを満たし、コミュニケーションに支障をきたすような誤りがない英文で答えている。

正答率：豊後高田市 1.2%、全国 1.8%

・本問は英語の表現の正確さについて、主語や動詞等の主要語の欠落や文構造の誤りなどコミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがない英語で書いていることを採点の視点としている。

・33.0%の生徒が、①②③を満たしつつも、こうした誤りがあるため正答に至らなかった。大問9で明らかになったように、語や文法事項等を活用することに課題があることで、自分の考えや理由を適切に書くことができなかつたものと考えられる。

・一方、49.7%(上記33.0%を含む)の生徒が、条件③を満たしていた(25語以上の文章を書いた)ことから、自分の考えや理由をなんとか伝えようとする粘り強さや意欲は見られた。

授業改善のポイント) ○新学習指導要領(平成30年度から移行期間開始)に示した取組を着実に実施すること。

- ・一文一文を聞き取る・読み取るだけでなく、目的・場面・状況等に応じて聞く・読む言語活動を充実させる。
- ・文法事項等を言語活動の中で理解し定着させる(和文に対応した穴埋めや語順整序だけではなく)。
- ・即興のやり取りをはじめとして、話すこと・書くことの発信の言語活動を充実させる等の工夫が必要です。

学校質問紙・児童・生徒質問紙と学力の相関関係

豊後高田市教育委員会 令和元年9月

全国学力・学習状況調査では、指導方法に関する取組や人物・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査として、「学校質問紙調査」があります。

具体的には、授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携状況に関するものです。

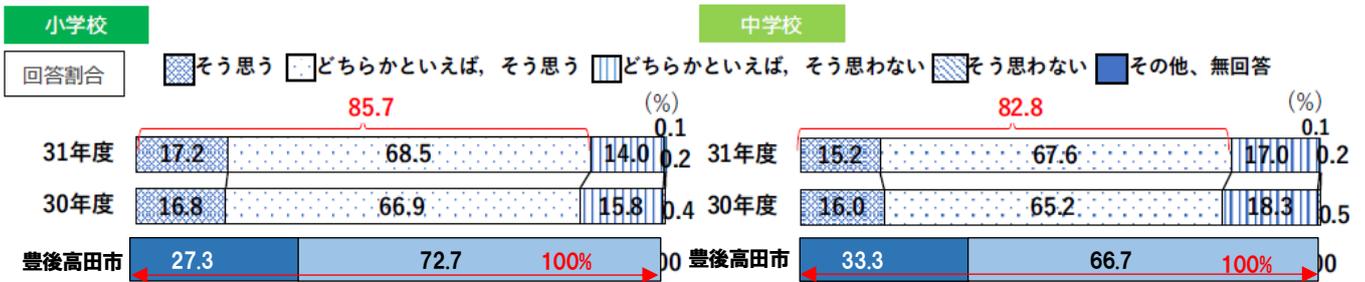
学力の調査とクロス集計をする事によって、関連性が明確になります。



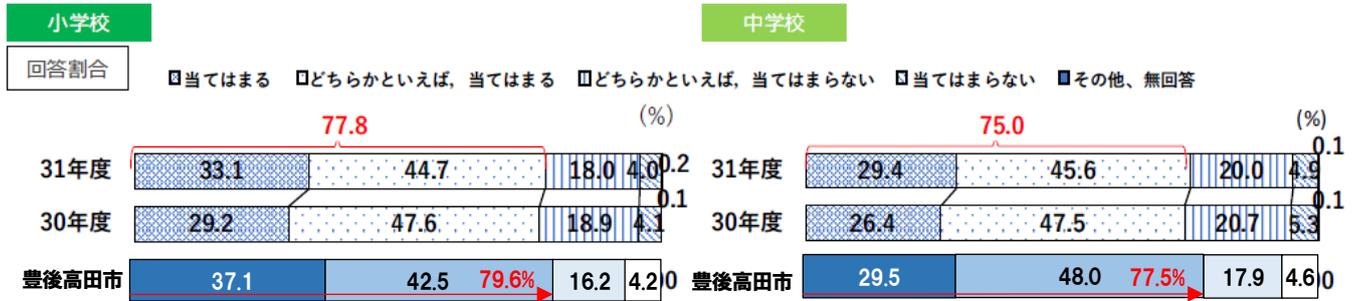
学校質問紙にも、児童・生徒質問紙にも、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況」に関する質問があります。

この「学校と児童・生徒の回答状況」と「選択肢毎の教科の正答率」の関連を明らかにしたのが下記のグラフです。

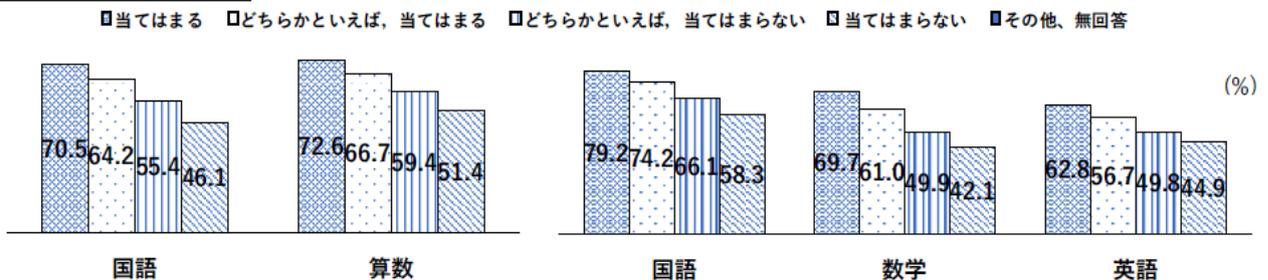
【学校質問紙】調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。



【児童生徒質問紙】5年生まで〔1,2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。



選択肢毎の教科の正答率



主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思うか」との質問に肯定的に回答した小中学校の割合は昨年度より増加しており、8割を超えています。豊後高田市では100%です。主体的・対話的な学びを意識して授業改善をしている表れと評価しています。

また、この質問に肯定的に回答した児童生徒の割合も昨年度より増加しており、7割を超えています。この質問に肯定的に回答した児童生徒の方が、国語、算数・数学、英語ともに平均正答率が高い傾向が見られます。

豊後高田市に於いても、同様な傾向にあります。今後も授業改善に努めます。

6. 豊後高田市の学力向上に関する改善策

豊後高田方式の本時案

本時略案記入のポイント

学年	教科	指導者	時数	/
単元名OR題材名				
題目				
本時のねらい	<p>「C目的（身に付けさせたい力など）」と「B手立て（中心となる学習活動）」を明らかにして設定する</p> <p>A 学習内容（～を、～について） B 学習活動（○○を通して、○○でまとめて、○○と比べて、等） C 育成する資質・能力・関心態度（△△できるようにする、△△に気付かせる、△△を高める等）</p>			
学習指導要領における領域・内容	学習指導要領のどの事項かを明記 → 付けたい力の明確化			
本時の評価規準（評価の視点）<評価方法>	<p>だれが見ても評価できる（BとCの区別ができる）</p> <p>本時のゴールの子どもの姿を具体的に！</p>			
展開	学習活動	指導の手立て		
【めあて】	導入	<p>「ねらい」を児童生徒の立場で示したもの。 「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」を示す。 ※学習の見通しがもてる・意欲を高めるものになるよう工夫</p>		
<課題>	展開	<p>【その時間に解決すべき事柄】 「なぜ、～なのか」「～することはできるだろうか」「どうしたら～できるか」など疑問形で示す</p> <p>【課題設定のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 既習事項や既有事項とのスレがある ② 意見の対立・拮抗が生じる ③ 目標達成のために超えなければならぬハードルがある ④ 素朴な驚きや疑問、憧れから問題意識が醸成される 等の要素があるもの 		
<まとめ>	終末	<p>授業中に行える C の状況にある児童生徒への指導支援の手立てを考える。 ※ 特別支援教育の視点から習熟の程度を把握し、改善策を検討（授業後 検討）</p> <p>本時の課題に対する【答え・結論】</p>		
【振り返り】	<p>視点を設定【 ノートに書く、ペアで伝え合う 等やり方を工夫し、毎時間行う 】 学習者自身が学びの成果を実感し、意欲や問題意識等を次につなげていく。 ※わかったこと、分らなかったこと、新たな疑問 等 ※本時のキーワードや学習用語を用いる等の条件設定をする等の工夫をする。</p>			

- B
- 比較する
 - 分類する
 - 理由づける
 - 推測する
 - 思考する
- 関連づける
 - 要約する
 - 具体化する
 - 見通す
 - 構造化する など

- できるようにすることは何？
- 期待する発言内容は？
- 期待する記述内容は？

○ 教科の特性・単元の展開・本時のねらい等に応じて、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を設定する。

○ 「付けたい力」を付けるために**必要な活動**を設定をする！

○ 「型」ありきではない！

○ 「めあて」「振り返り」は、
 • 学習者が見通しをもち、学習の成果を実感するためのもの。
 • 授業者が、付けたい力を明確にして、学習者全員に力を付けるためのもの。
 • 授業者が学習者による振り返りをもとに、授業改善へつなぐもの。

令和元年度全国体力・運動能力等調査結果

小学校

小学校 5年男子	握力(kg)			上体起こし(回)			長座体前屈(cm)			反復横とび(点)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	522,539	16.37	3.77	50.0	19.80	6.00	50.0	521,166	33.24	8.28	50.0	519,520	41.74	7.99	50.0
大分県	4,873	17.04	3.80	51.8	21.54	6.35	52.9	4,832	35.55	8.72	52.8	4,809	44.64	8.90	53.6
市区町村	96	17.86	3.64	54.0	21.04	6.09	52.1	95	34.58	6.01	51.6	94	47.37	8.45	57.0

小学校 5年男子	20mシャトルラン(回)			50m走(秒)			立ち幅とび(cm)				
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	516,726	50.32	21.09	50.0	9.42	1.03	50.0	519,558	151.45	22.06	50.0
大分県	4,768	55.49	21.91	52.5	9.34	1.02	50.8	4,804	154.43	21.81	51.4
市区町村	95	55.76	20.31	52.6	9.03	0.89	53.8	95	157.32	18.85	52.7

小学校 5年男子	ソフトボール投げ(m)			体力合計点(点)			総合評価(%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	A	B	C	D	E
全国	519,180	21.61	8.19	50.0	53.61	9.22	50.0	11.7%	24.1%	33.0%	21.3%	9.9%
大分県	4,830	23.75	8.26	52.6	56.83	8.85	53.5	20.1%	29.7%	30.3%	14.8%	5.2%
市区町村	97	25.25	8.38	54.4	58.60	8.49	55.4	24.4%	41.1%	18.9%	10.0%	5.6%

小学校 5年女子	握力(kg)			上体起こし(回)			長座体前屈(cm)			反復横とび(点)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	503,966	16.09	3.80	50.0	18.95	5.41	50.0	502,618	37.62	8.49	50.0	500,961	40.14	7.17	50.0
大分県	4,761	16.76	3.79	51.7	20.42	5.73	52.7	4,721	39.84	9.01	52.6	4,700	42.74	7.55	53.6
市区町村	79	17.99	4.08	55.0	20.81	5.14	53.4	79	40.19	6.94	53.0	78	46.50	7.09	58.9

小学校 5年女子	20mシャトルラン(回)			50m走(秒)			立ち幅とび(cm)				
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	498,049	40.79	16.48	50.0	9.64	0.86	50.0	500,778	145.68	20.70	50.0
大分県	4,643	44.86	16.72	52.5	9.58	0.85	50.6	4,693	148.66	20.23	51.4
市区町村	78	49.40	13.20	55.2	9.06	0.71	56.7	78	156.10	13.43	55.0

小学校 5年女子	ソフトボール投げ(m)			体力合計点(点)			総合評価(%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	A	B	C	D	E
全国	500,310	13.61	4.78	50.0	55.59	8.72	50.0	16.0%	27.0%	33.2%	17.9%	5.8%
大分県	4,681	15.13	5.09	53.2	58.57	8.56	53.4	26.1%	32.1%	26.4%	12.2%	3.3%
市区町村	79	16.67	5.47	56.4	62.71	7.62	58.2	47.2%	30.6%	15.3%	5.6%	1.4%

中学校 2年男子	握力(kg)			上体起こし(回)			長座体前屈(cm)			反復横とび(点)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点		
全国	454,582	28.65	7.14	50.0	26.96	6.17	50.0	452,170	43.50	10.70	50.0	449,124	51.91	8.17	50.0
大分県	4,243	29.55	7.34	51.3	27.77	6.51	51.3	4,189	45.00	11.07	51.4	4,180	53.81	9.17	52.3
市区町村	81	32.05	7.65	54.8	27.29	7.00	50.5	82	46.28	10.03	52.6	81	51.69	8.69	49.7

中学校 2年男子	持久走(秒)			20mシャトルラン(回)			50m走(秒)			立ち幅とび(cm)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点		
全国	212,932	398.98	66.82	50.0	83.53	24.57	50.0	445,956	8.02	0.88	50.0	448,573	195.03	28.30	50.0
大分県	226	413.18	83.96	47.9	84.87	25.12	50.5	4,079	7.94	0.87	50.9	4,142	199.29	28.83	51.5
市区町村	0				82.07	25.40	49.4	79	7.98	0.84	50.5	78	200.29	24.70	51.9

中学校 2年男子	ハンドボール投げ(m)			体力合計点(点)			総合評価(%)						
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	A	B	C	D	E	
全国	447,589	20.40	5.75	50.0	41.69	10.27	50.0	417,526	7.6%	25.1%	37.1%	22.7%	7.4%
大分県	4,106	21.87	5.90	52.5	44.42	10.27	52.7	3,660	12.3%	31.3%	35.3%	16.3%	4.8%
市区町村	79	21.91	5.59	52.6	45.00	9.13	53.2	71	11.3%	35.2%	38.0%	14.1%	1.4%

中学校 2年女子	握力(kg)			上体起こし(回)			長座体前屈(cm)			反復横とび(点)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点		
全国	435,539	23.79	4.61	50.0	23.69	5.85	50.0	434,004	46.32	9.99	50.0	430,667	47.28	6.76	50.0
大分県	4,140	24.36	4.79	51.2	23.48	6.24	49.6	4,086	47.47	10.30	51.2	4,029	48.06	7.56	51.2
市区町村	57	25.44	4.90	53.6	25.26	7.01	52.7	60	49.88	8.32	53.6	60	48.95	6.44	52.5

中学校 2年女子	持久走(秒)			20mシャトルラン(回)			50m走(秒)			立ち幅とび(cm)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点		
全国	201,472	289.82	43.25	50.0	58.31	19.95	50.0	426,344	8.81	0.80	50.0	430,258	169.90	24.34	50.0
大分県	182	311.91	61.31	44.9	58.50	20.14	50.1	3,981	8.76	0.84	50.6	4,027	173.07	24.58	51.3
市区町村	0				64.05	20.15	52.9	62	8.78	0.86	50.4	58	178.17	24.91	53.4

中学校 2年女子	ハンドボール投げ(m)			体力合計点(点)					総合評価(%)				
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	平均値	標準偏差	T得点	A	B	C	D	E	
全国	430,442	12.96	4.18	50.0	50.22	11.04	50.0	401,891	31.4%	32.3%	24.7%	9.7%	1.9%
大分県	4,030	13.61	4.40	51.6	51.82	10.86	51.4	3,559	36.5%	32.8%	21.8%	7.2%	1.7%
市区町村	62	14.95	4.09	54.8	55.25	11.60	54.5	53	49.1%	30.2%	13.2%	3.8%	3.8%

児童生徒の生活習慣に関する調査より【抜粋】

○運動やスポーツをどのくらいしていますか？

「ほとんど毎日(週3回以上)」「時々(週1～2日)」の回答率(%)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R1豊後高田
小学校男子	85.0	85.5	85.7	91.7	93.0	92.4	92.4	97.5
小学校女子	71.0	73.1	74.6	88.1	90.9	89.8	90.2	95.7
中学校男子	91.2	91.0	91.1	93.1	93.4	92.9	93.3	96.1
中学校女子	72.9	74.3	75.1	82.1	84.5	83.4	85.1	95.1
高校男子	75.1	77.4	78.2	80.2	81.7	81.4	81.2	
高校女子	45.0	46.8	47.0	60.1	59.5	63.5	64.0	

※ は最高値

○運動やスポーツをすることは好きですか？

「好き」「やや好き」の回答率(%)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R1豊後高田
小学校男子	91.4	92.6	90.9	90.9	91.0	91.0	91.6	94.3
小学校女子	82.2	83.1	82.9	83.5	83.3	83.0	84.2	86.2
中学校男子	89.3	88.2	87.9	89.8	88.0	87.7	84.6	88.7
中学校女子	75.4	76.2	76.8	78.5	77.0	78.2	75.1	76.6
高校男子	87.7	88.3	87.9	88.2	87.5	87.6	86.4	
高校女子	71.7	72.5	71.7	75.2	73.3	74.5	73.8	

※ は最高値